|  |
| --- |
| 第11回災害対策委員会議事録 |
| 日　時 | 平成29年6月24日（土）13：30～15：40 |
| 場　所 | 榊原病院　会議室 |
| 参加者敬称略 | 東員病院：辻　　北勢病院：東　　南勢病院：高柳　　榊原病院：福澤障害者総合相談支援センターあい：中村　　松阪保健所：三上　　総合心療センターひなが：長谷川　　上野病院：藤岡 |
| 欠席者敬称略 | 志摩市障害者相談支援センターこだま：岡　　熊野病院：西村 |
| 議　題 | 1. 自己紹介
2. 災害対策委員の役割について
3. 今年度の活動について
4. その他
 |
| 議事内容 | 1. 自己紹介

本年度初回の委員会であり、委員の変更もあったため、自己紹介を行う。1. 災害対策委員の役割について

辻氏より、研修資料（「災害支援ガイドラインと災害対策委員の役割」公益社団法人日本精神保健福祉士協会　組織強化・災害支援体制整備委員会）を用いて、災害対策委員の役割について説明して頂く。* 1. 災害対策委員が所在する都道府県・市町村で災害が発生した場合、速やかに被災地の状況・情報を収集・把握し、本協会事務局に情報提供を行う。
	2. 支部における災害支援体制の検討及び災害支援に関する知識の普及のための活動を推進する。
	3. 近隣都道府県またはブロック単位での災害対策委員間における災害支援活動にかかわる平常時及び災害時の連携体制を検討する。
	4. 災害対策委員メーリングリストを利用しての情報の発信。
1. 今年度の活動について

（現状）災害対策計画はできたが、今後、具体的に何をしていくかは未定。ブロックごとでも、情報にばらつきがあり、浸透していない。平成27年、28年度は研修を実施した。　⇒今年度の活動として、平成30年3月の例会（桑名ブロック）で研修を開催する。（研修内容の検討）　　ＨＵＧを行い、その振り返り。　　災害時を想定してのシミュレーション、グループワーク。　　被災地で支援を受け入れた側のＰＳＷなどの話を聞ければよい（伝手がない）。　　ＤＰＡＴの最新情報。　　予算は3万円　⇒①ＨＵＧ、②講師を呼んで講演会のどちらかで検討。　　県の研修で防災対策関係のものがあり、共催できそうであればそれも検討。　※次回までに各委員が研修案を考え、持ち寄る。４.　その他特になし。 |
| 次　回 | 日時：平成29年9月9日（土）13:30～場所：榊原病院　第一研修室司会：東員病院　辻　　　書記：北勢病院　東内容：研修内容の検討準備：各委員が研修案を考え、持ち寄る  |